

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
<b>①【公益目的事業】</b>			
<b>第一 指導・普及事業</b>			
<b>【目的】</b>			
<p>・正しいサッカー及びフットサルを普及するために、県民に対して、健全で安全なスポーツ環境を提供する必要がある。これを実現するためには、何よりも先ず、指導者と審判員の養成とその質の向上が不可欠である。指導者と審判員は、児童や青少年の各年代の身体的、技術的な発達度合いに応じた適切な指導方法を体得し、正しいルールを理解する必要がある。正しい指導ができる指導者と審判員のもとで、安全に継続して楽しみながらプレイすることが、児童や青少年の健全な発達を促し、可能性を引き出し、素質を開花させることに繋がる。</p>			
<b>1. 選手及び指導者育成事業</b>			
<b>【内容】</b>			
<p>・当該事業は、選手の育成・強化を通じて競技力の向上を図り、指導者を養成して埼玉県民のサッカーのレベルアップを図ることにある。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>・今までの積み重ねになるが登録選手が約55,700人で、全国で2番目を維持している。また、登録指導者数は約6,000人で全国3番目となった。(昨年度は2番)</p>			
1 B級コーチ養成講習会	17人	通年(年1コース)	SFAフットボールセンター他
2 C級コーチ養成講習会	304人	通年(年13コース)	SFAフットボールセンター他
3 D級コーチ養成講習会	260人	通年(年10コース)	SFAフットボールセンター他
4 キッズリーダー養成講習会 U-10コース	71人	通年(年4コース)	SFAフットボールセンター他
5 キッズリーダー養成講習会 U-8コース	2人	通年(年1コース)	SFAフットボールセンター他
6 キッズリーダー養成講習会 U-6コース	17人	通年(年2コース)	SFAフットボールセンター他
7 キッズリーダー養成講習会 ALLコース	102人	通年(年5コース)	SFAフットボールセンター他
8 リフレッシュ研修会(C級コーチ)	456人	通年(年15コース)	SFAフットボールセンター他
9 A級コーチB級コーチ埼玉トライアル	52人	9月、12月	SFAフットボールセンター他
10 県トレーニングセンターU-16	150人	通年	SFAフットボールセンター他
11 県トレーニングセンターU-15、U-14、U-13	450人	通年	SFAフットボールセンター他
12 県トレーニングセンターU-12	277人	通年	県内各地
13 県GKトレーニングセンター	196人	通年(21回)	SFAフットボールセンター他
14 県女子トレーニングセンターU-18、U-15	124人	通年(17回)	SFAフットボールセンター他
15 県女子GKトレーニングセンター(県女子GK講習会)	55人	通年(3回)	日高高校横芝生グラウンド
16 関東トレーニングセンターリーグU-16、U-15、U-14、U-13、U-12	150人	通年	SFAフットボールセンター他
17 第17回JFA地域ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会	68名	2月22日～23日	ひたちなか市総合運動公園
<b>2. 審判員養成事業</b>			
<b>【内容】</b>			
<p>・本法人が主催する競技会は、日本協会が認定する有資格者の審判員によって行うことが前提となっている。公認3級及び4級の審判員の養成は、都道府県サッカー協会が担当するため、本法人では日本協会の審判資格体系に基づく審判資格認定講習会を実施し、資格の認定を行う。また、有資格者の資質を高めるための研修会(審判トレーニングセンター)、資格更新のために行う更新講習会、審判の指導や評価を行うインストラクター養成講習会等を実施する。さらに各種大会に審判員やインストラクターを割当て、派遣することも行う。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>・有資格者数は約20,500人であった。</p>			
1 3級審判インストラクター研修会	32人	7月	坂戸市文化施設オルモ
2 3級新規審判インストラクター研修会	4人	5月、10月	坂戸市文化施設オルモ、新座市総合運動公園
3 2級審判インストラクター養成講座	3人	8月	県内各地
4 3級審判インストラクター新規認定講習会	9人	12月	坂戸市文化施設オルモ
5 3級審判インストラクター更新講習会	74人	11月、2月	県立坂戸高等学校
6 講習会講師研修会	34人	9月	坂戸市文化施設オルモ
7 レフリーアカデミー研修	10人	通年(年10回)	県内各地
8 女子審判員養成研修	9人	6. 10月	さいたま市内中学校
9 トップレフリー育成	200人	通年	SFAフットボールセンター他
10 4級審判員新規講習会	5,964人	通年	県内各地
11 4級審判員更新講習会	10,132人	9月～12月	県内各地
12 2・3級審判員更新講習会	1,022人	10月、11月(4回)	県内各地(東西南北)
13 2級審判員体力テスト	43人	通年(年5回)	県内各地
14 2級審判員昇級1次審査	13人	9月、2月	県内各地
15 3級審判員昇級審査	100人	偶数月+1(年7回)	県内各地
16 市町審判委員長会議	72人	7月	芝浦工大
17 各種大会等インストラクター派遣	193人	通年	県内各地
18 各種大会等審判員派遣	1,200人	通年	県内各地
19 審判員・インストラクター登録普及	20,617人	通年	県内各地
20 アフター10事業	12人	通年	県内各地
21 審判研修会派遣	21人	通年	関東近県
22 3級審判インストラクター研修会(フットサル)	3人	4月	県内各地
23 審判員研修会(フットサル)	0人	3月	県内各地
24 レフェリートレーニングセンター(フットサル)	10人	通年	県内各地
25 2・3・4級審判員更新講習会(フットサル)	35人	11月～12月	県内各地
26 4級審判員新規講習会(フットサル)	50人	通年	県内各地
27 3級審判員昇級審査(フットサル)	3人	9月	県内各地
28 2級審判員昇級予備審査(フットサル)	2人	9月	県内各地
29 3級審判インストラクター更新講習会(フットサル)	3人	12月	県内各地
30 3級審判インストラクター新規講習会(フットサル)	0人	3月	県内各地
31 各種大会等インストラクター派遣(フットサル)	70人	通年	県内各地
32 各種大会等審判員派遣(フットサル)	674人	通年	県内各地
33 4級審判員を対象とした研修会及び実技指導	30人	10月	狭山市
34 4級審判員向け審判情報の発信	20,502人	通年	県内各地
<b>3. 広報紙発行事業</b>			
<b>【内容】</b>			
<p>・本法人が主催する各種大会の状況、最新のトピックを取り上げた広報紙「SFA NEWS」を、全加盟チーム及び関係者に配信する。また、全文をホームページに掲載している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金である。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>・登録メンバーはもとより、県民の皆様にもSFAが行っている事業や取り組み、考え方を認識していただいているようである。大会視察などで県内各地へ訪問した際には、SFAニュースについてのご意見や感想をいただくことも多く、目を通していただいている実感があり、今後の参考となることが多い。登録メンバーには公式ウェブサイトへアップした時点で「SFAメールマガジン」を送信し、閲覧するよう積極的な働きかけを行っている。</p>			
1 SFAニュース(ウェブサイト機関紙)発行		年6回	

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
<b>4. ホームページ運営事業</b>			
<b>【内容】</b>			
・本法人の組織、事業、競技会、委員会、連盟等の全ての情報を提供し、内容を日々更新してタイムリーに情報を発信している。当事業の財源は、当該事業に係る日本協会からの補助金及びホームページ運営協賛金である。			
<b>【成果】</b>			
・(公財)埼玉県サッカー協会主催の試合結果や関連する事業報告等については、各担当者から届き次第更新している。			
・公益性を持つ団体として、協会の概要・組織・定款等を公開。			
・12月にリニューアルを行い、視認性と利便性の向上を図った。また、スマートフォンやタブレット端末からも快適に利用できるレスポンスWebデザインを導入した。			
1 ホームページ運営管理		通年	
2 ホームページ更新(リニューアル)		12月	
<b>5. 地域での普及事業</b>			
<b>(1)キッズプログラム</b>			
<b>【内容】</b>			
・埼玉県教育委員会を通して希望する幼稚園・保育園・小学校へ、日本協会の認定を受けた指導者を無料で派遣する巡回指導を、主として実施している。年間約50の園・学校を巡回する。他に、地域で密着する形でU-8リーグ戦を開催している。			
<b>【成果】</b>			
・多くの子供たちに、スポーツの楽しさ、ボールと触れあうことの楽しさを伝えることができた。巡回指導を希望する幼稚園・保育園・小学校が年々増えてきており、より質の高い指導が提供できるように指導者のスキルアップも重要となってきている。			
1 キッズ巡回指導	71カ所	6月～2月	県内幼稚園・保育園・小学校
2 U-8リーグ戦	143チーム	4月～3月	県内各地
3 キッズ(U-10)エリートマッチ	中止	3月14日予定	越谷しらこぼと
<b>(2)キッズフェスティバル</b>			
<b>【内容】</b>			
・幼稚園年長児(U-6)や小学校低学年児童(U-8)を対象として、サッカーに親しむ場を提供する事業。			
<b>【成果】</b>			
・数多くのチームに、サッカーの試合を経験させることにより、子供たちにサッカーの楽しさを伝えることができた。未就学児であるU-6を対象としたフェスティバルでは、勝ち負けにこだわることなく、ボールを蹴る楽しさを身近に感じてもらうことができた。			
1 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル	中止	3月8日予定	越谷しらこぼと
2 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル	534人	12月21日	坂戸第一多目的広場
3 JFAキッズ(U-8)サッカーフェスティバル	586人	5月12日	熊谷ドーム
4 JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル	302人	2月11日	SFAフットボールセンター
5 JFAユニクロサッカーキッズ	開催無し	開催無し	開催無し
<b>(3)レディース・ガールズ・サッカーフェスティバル</b>			
<b>【内容】</b>			
・女子を対象としたサッカーに親しむための普及事業。スクール形式やオープン参加の試合形式のもの等がある。			
<b>【成果】</b>			
サッカーを楽しみながら交流を深め、技術の向上とサッカーの普及を図ることができた。			
1 JFAレディース・ガールズサッカーフェスティバル	中止	2月予定	SFAフットボールセンター
2 JFAガールズサッカーフェスティバル	35人	2月2日	埼玉スタジアム
<b>(4)スポーツ・インターンシップ</b>			
<b>【内容】</b>			
・県内の大学生が将来教員を志望し、また、中学校サッカー部の指導を行いたい者に、本法人が公認C級コーチのライセンス取得に協力し、取得後に県内中学校の部活動のインターンを経験してもらう事業である。大学生の指導者志向の拡大、中学校の部活指導者の量的拡大も期待するもので、埼玉県教育委員会との共同開催事業である。			
<b>【成果】</b>			
・2019年度開催なし			
1 スポーツ・インターンシップ	開催無し	開催無し	開催無し
<b>6. スポーツマネジャー養成事業</b>			
<b>【内容】</b>			
・スポーツイベント、クラブ経営等のマネージメント能力を有する人材養成を目的とする講座。多くの県民への受講の機会を広げるために、日本協会が行っているスポーツ・マネジャーズ・カレッジ(SMC)講座を簡易版として提供する事業。環境分析、行動計画、目標管理などの6セッションを実施する。当事業の財源は、受講料である。			
<b>【成果】</b>			
・2019年度は18名が受講予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。			
1 JFAスポーツマネジャーズカレッジサテライト講座in埼玉	中止	2月～3月予定	北浦和カルタスホール他
<b>7. その他の普及事業</b>			
<b>【内容】</b>			
・埼玉県内の市町においてサッカーの普及振興を行い、本法人に届け出た団体(以下、市町協会)及び本法人の加盟チームによって結成され、本法人が設立許可した各連盟に対し、運営助成金を支給している。当事業は収益事業等の収入を財源としている。			
<b>【成果】</b>			
・約55,700人の選手と約6,000人の指導者、約20,500人の審判員が市町協会や種別連盟の大会等でサッカーの活動を行っている。			
1 ウェルフェアオフィサー養成講習会	開催無し	通年	未定
2 トライアルSFA	360人	9月～3月	県内中学校・高校
3 市町協会への助成金 ※5万円(市町協会のみ登録チーム数×1,000円加算)		通年	
4 各種連盟への助成金 ※各種連盟により異なる。		通年	

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
<b>第二 競技会開催事業</b>			
<b>【目的】</b>			
・試合は、選手のパフォーマンスの表現の場であり、日頃積み重ねた練習の成果を確認する場である。選手は観客に観られることで成長し、試合の競い合いを通じて更に進化する。こうした機会を、サッカー及びフットサルに親しみたい多くの人たちへ提供するために、年代別、性別、地域や自治体別などに競技会を組織し、各種の競技会を主催又は関連団体と共同して開催する。 競技会開催を通じて、県民のスポーツへの関心と理解を深め、青少年の健全な育成と生涯スポーツの推進をめざす。また、地域との連携を図ることにより、コミュニティの絆を深め、地域活動の健全な発展に寄与する。			
<b>1. 主催事業(種別)</b>			
<b>【内容】</b>			
・本法人が、運営に関する事項を決定できる権限と責任を負う競技会を開催する事業である。具体的には、大会要項に記載する事項(会場、スケジュール、参加資格、競技方法、競技規則等)を、本法人が責任を持って決定し、直接主催する。			
<b>【成果】</b>			
・サッカー・フットサル、男性・女性、少年からシニアまで多くの選手が公式戦に参加できる環境を整備したことで、約1,700チームが活動している。			
<b>第1種</b>			
1 彩の国カップ第24回埼玉県サッカー選手権大会	6チーム	3月24日～5月11日	SFAフットボールセンター、埼玉スタジアム
2 埼玉県社会人サッカー連盟会長杯予選兼彩の国カップ1次予選	68チーム	11月17日～12月22日	県内各地
3 埼玉県社会人サッカー連盟会長杯兼彩の国カップ2次予選	48チーム	1月12日～3月1日	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他
4 埼玉県市町村対抗戦兼県民総合体育大会	16チーム	2月9日～3月8日	県内各地
5 第26回全国クラブチームサッカー選手権 埼玉大会	41チーム	6月2日～7月28日	川口市青木運動公園陸上競技場 他
6 全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選	11チーム	4月27日～5月25日	堀崎G他
7 彩の国カップ大学代表決定戦	14チーム	3月3日～3月17日	各大学グラウンド他
8 総理大臣杯埼玉県代表決定戦	14チーム	4月7日～4月27日	各大学グラウンド他
9 埼玉県大学サッカーリーグ戦	16チーム	5月2日～10月20日	各大学グラウンド他
<b>第2種</b>			
1 高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 2019 埼玉県	200チーム	4月6日～12月8日	各学校会場
2 U-16埼玉県サッカーリーグ	150チーム	4月27日～12月15日	各学校会場
3 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会1次予選	150チーム	8月25日～8月31日	各学校会場
4 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県大会2次決勝トーナメント	52チーム	10月22日～11月17日	NACK5スタジアム、浦和駒場スタジアム、埼玉スタジアム2002
<b>第3種</b>			
1 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会埼玉県予選	77チーム	5月3日～5月11日	県内各地
2 高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2019 埼玉 兼 高円宮杯 JFA 第31回全日本U-15サッカー選手権大会 埼玉県予選	400チーム	2月9日～10月19日	県内各地
3 埼玉県 ユース(U-13) サッカーリーグ	9チーム	9月8日～11月30日	県内各地
4 埼玉県 ユース(U-13) サッカー選手権大会中学校1次予選	340チーム	9月1日～12月29日	中学校会場他
5 埼玉県 ユース(U-13) サッカー選手権大会中学校2次予選	42チーム	12月1日～1月13日	中学校会場他
6 第22回埼玉県 U-13 サッカー選手権大会クラブ予選	66チーム	10月12日～1月18日	県内各地
7 第22回埼玉県 U-13 サッカー選手権大会	16チーム	2月2日～2月29日	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場等
<b>第4種</b>			
1 第13回埼玉県第4種リーグ戦	449チーム	4月～10月	県内各地
2 第13回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会	52チーム	11月23日～12月15日	埼玉スタジアム他
3 JFA 第43回全日本U-12サッカー選手権大会 埼玉県大会	156チーム	10月20日～11月17日	埼玉県県下各地・埼玉スタジアム他
4 第14回埼玉県第4種新人戦	454チーム	10月26日～2月9日	熊谷市スポーツ・文化村 くまびあ他
5 U-11、U-10 サッカーリーグ 2019	295チーム	4月～3月	県内各地
6 第43回関東少年サッカー大会埼玉県大会(地区予選実施)	88チーム	4月27日～6月30日	埼玉スタジアム第2G他
<b>女子</b>			
1 JFA 第31回全日本O-30女子サッカー大会埼玉県予選	開催無し	未定	埼玉スタジアム第4グラウンド
2 第27回埼玉県女子サッカーリーグ1部・2部	28チーム	5月12日～12月8日	大東文化大学・東京国際大学他
3 皇后杯 JFA 第41回全日本女子サッカー選手権大会兼第39回埼玉県女子サッカー大会	7チーム	6月30日～7月14日	SFAフットボールセンター他
4 第12回埼玉県サッカー協会会長杯兼第41回埼玉県女子サッカー選手権大会	5チーム	11月30日～12月8日	東京国際大学他
5 JFA 全日本U-18女子サッカー選手権大会 兼 関東U-18女子サッカー選手権大会	4チーム	9月1日～9月14日	レッズランド他
6 JFA 第24回全日本 U-15女子サッカー選手権大会兼関東 U-15女子サッカー選手権大会埼玉県予選	15チーム	4月20日～5月18日	SFAグラウンド・十文字学園G・しらこぼとG・くまびあ他
7 埼玉県高等学校女子サッカー選手権大会兼関東高等学校女子サッカー選手権大会予選	36チーム	8月21日～9月23日	県内各地
8 第26回選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷	中止	3月25日～3月29日	利根川総合運動公園・妻沼運動公園
9 第16回埼玉県女子 U-15 サッカーリーグ	23チーム	6月2日～11月30日	県内各地
10 第11回埼玉県女子 U-15 秋季サッカー大会	開催無し	10月	妻沼運動公園・大島新田グラウンド他
11 第7回埼玉県女子 U-14 新人戦大会	19チーム	12月15日～2月11日	十文字学園・くまびあ・しらこぼと運動公園他
<b>シニア</b>			
1 第12回埼玉県サッカー協会会長杯 兼 O-40リーグ(1部・2部・3部)	40チーム	3月3日～2月16日	SFAフットボールセンター他
2 埼玉県民総合体育大会(O-40)	40チーム	9月8日～12月15日	UFAJグラウンド、葛和田サッカー場他
<b>フットサル</b>			
1 JFA 第25回全日本フットサル選手権大会埼玉県大会	36チーム	9月21日～11月30日	県内体育館
2 JFA 第6回全日本 U-18 フットサル選手権大会埼玉県大会	9チーム	4月28日	県内体育館
3 JFA 第25回全日本 U-15 フットサル選手権大会埼玉県大会	16チーム	8月17日～8月31日	県内体育館
4 JFAバーモントカップ 第29回全日本 U-12 フットサル選手権大会埼玉県大会	36チーム	5月26日～7月14日	県内体育館
5 JFA 第16回全日本女子フットサル選手権大会埼玉県大会	1チーム	代表推薦	
6 JFA 第10回全日本 U-15 女子フットサル選手権大会埼玉県大会	6チーム	8月17日～8月31日	県内体育館
7 第15回全日本大学フットサル大会埼玉県大会	1チーム	代表推薦	
<b>その他</b>			
1 埼玉国際サッカーフェスティバル	中止	3月14日～15日	駒場スタジアム他

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
<b>2. 受託事業(委託元別)</b>			
<b>【内容】</b>			
・本法人が、競技会運営の主管を担う事業であり、主催者は日本協会及び関東サッカー協会等である。競技会運営の権限と責任はすべて主催者側にある。			
<b>【成果】</b>			
・FIFAワールドカップカタール2022アジア2次予選第2戦 日本代表対モンゴル代表戦を受託し、6-0の快勝で約43,000人のサポーターが熱狂する試合となった。 ・皇后杯決勝はNACK5スタジアム大宮で開催され日テレ・ベレーザが浦和レッズレディースに1-0で勝利した。無料試合であったが1万人以上の観衆で沸いた試合となった。			
<b>日本サッカー協会</b>			
1 国際試合	1試合	10月10日	埼玉スタジアム2002
2 天皇杯 JFA 第99回全日本サッカー選手権大会	4試合	7月3日～9月25日	駒場スタジアム、NACK5スタジアム、埼玉スタジアム2002
3 皇后杯 JFA 第41回全日本女子サッカー選手権大会	3試合	12月22日～29日	NACK5スタジアム大宮
4 全国高等学校サッカー選手権大会	13試合	12月31日～1月13日	浦和駒場スタジアム・NACK5・埼玉スタジアム2002
<b>関東サッカー協会</b>			
1 全国クラブチームサッカー選手権 関東大会	8チーム	9月21日～9月23日	県内各地
2 第22回関東フットサルリーグ1部・2部入替戦、参入戦	8チーム	2月22日～3月1日	ウイングハット春日部
3 第11回関東女子フットサルリーグ参入戦	10チーム	2月23日～3月1日	ウイングハット春日部
<b>その他</b>			
1 JリーグYBCルヴァンカップ決勝	2チーム	10月26日	埼玉スタジアム2002
2 FUJI XEROX SUPER CUP	2チーム	2月8日	埼玉スタジアム2002
3 eスポーツ	8チーム	8月18日	埼玉スタジアム2002
<b>3. 補助事業(種別)</b>			
<b>【内容】</b>			
・各連盟等が主催する競技会を、本法人が後援する事業である。当事業では各連盟のチーム加盟費及び選手登録費の総額に応じて補助金を交付する場合がある。 なお、受託及び補助事業における競技会においても、本法人から人を派遣し、競技会運営が要項に則って適切に行われることを担保している。当事業の財源は、競技会参加料、日本協会及び関東サッカー協会等からの補助金、各連盟からの負担金、日本協会からの受託金、入場料、大会プログラム販売収入、企業等からのプログラム制作協賛金及び大会協賛金である。			
<b>【成果】</b>			
・サッカー・フットサル、男性・女性、少年からシニアまで多くの選手が所属する連盟の大会を行うことができた。			
<b>第1種</b>			
1 第55回全国社会人サッカー選手権大会関東予選	4チーム	6月2日～6月16日	東京国際大学坂戸グラウンド
2 埼玉県社会人サッカーリーグ1部・2部・3部	78チーム	4月7日～11月10日	県内各地
3 社会人リーグ選抜交流戦	6チーム	12月8日～1月12日	栃木県、東京都
4 各地区ブロックリーグ決勝大会	27チーム	10月20日～1月5日	県内各地
5 県リーグ1部・2部・3部昇降格決定戦	9チーム	11月17日～12月1日	SFAフットボールセンター、越谷しらこぼと運動公園競技場
<b>第3種</b>			
1 第29回埼玉県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会	75チーム	10月6日～12月8日	県内各地
2 第29回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会	82チーム	5月19日～2月1日	県内各地
<b>第4種</b>			
1 第17回埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12会長杯	24チーム	4月27日～7月21日	SFAフットボールセンター他
2 第17回埼玉県クラブユースサッカー選手権U-12大会	18チーム	12月7日～2月8日	SFAフットボールセンター他
3 第24回 U-12 彩の国さいたまCUP 新春少年サッカー大会	12チーム	1月2日～1月3日	埼玉スタジアム第4G他
5 第18回埼玉県クラブユースサッカー選手権U-11大会	25チーム	9月1日～3月31日	SFAフットボールセンター他
6 第18回埼玉県クラブユースサッカー選手権U-10大会	24チーム	7月28日～12月29日	SFAフットボールセンター他
6 第31回埼玉県少女サッカー大会	19チーム	11月10日～11月17日	新座市総合運動公園陸上競技場他
7 第17回埼玉県少女サッカーフェスティバル	23チーム	4月27日～7月21日	大島新田サッカー場他
<b>シニア</b>			
1 第8回スーパーシニア(O-70)サッカー大会	16チーム	4月23日	埼玉スタジアム2002
2 埼玉 O-60 サッカーフェスティバル	20チーム	4月14日	UACJグラウンド
3 埼玉 O-50 サッカーフェスティバル	10チーム	3月16日～3月17日	SFAフットボールセンター
<b>フットサル</b>			
1 第19回埼玉県フットサルリーグ1部	10チーム	4月13日～12月28日	県内体育館
2 第17回埼玉県フットサルリーグ2部	9チーム	4月14日～2月15日	県内体育館
3 第10回埼玉県フットサルリーグ3部	9チーム	4月28日～2月1日	県内体育館
4 埼玉県フットサルリーグオープン	9チーム	6月15日～12月15日	県内体育館
5 第1回埼玉県 U-18 フットサルリーグ	8チーム	6月16日～1月18日	県内体育館
6 第16回埼玉県女子フットサルリーグ	5チーム	6月15日～12月15日	県内体育館
7 埼玉県フットサル トレーニングセンター	10数回	5月5日～2月2日	県内体育館
<b>その他</b>			
1 障がい者サッカー大会補助(交流サッカーフェスティバル)	580名	1月12日	埼玉スタジアム2002
<b>第三 代表関連事業</b>			
<b>【目的】</b>			
・県民にサッカーに対するより一層の興味を惹かせ、理解を深めるためには、埼玉県内においてサッカーの素質ある者を、埼玉県を代表する選手に育て、更に日本トップレベルへと引き上げ、ひいては世界へと送り出す育成強化の取り組みが不可欠である。都道府県単位の参加による競技会である国民体育大会の競技会をはじめとする県内外の活動や、海外交流などのグローバルな活動を通じて、更なる競技力向上をめざす。日々にゆまぬ努力を続け、競技力を高め、夢や目標の実現に向かってチャレンジする姿は、広く県民に勇気や生きる力を与える。また、県民の心身の健全な発達と豊かな人間性を涵養することにも繋がる。			
<b>【内容】</b>			
・全国大会出場チームの支援や、国民体育大会におけるサッカー競技の埼玉県代表チームの編成を行う事業である。全国大会出場チームに対しては、奨励金という形で支援を行っている。また国民体育大会については、サッカー競技は、成年、女子、少年の3種別あり、本法人の技術委員会が中心となって強化方針、監督・スタッフの人選、チーム編成等を協議し、決定する。それぞれの監督・スタッフは代表選手の選考を行って、関東ブロック大会、本大会に臨む。また、日本のトップレベル、世界をめざし得る逸材を育てるために、競技力向上の事業を展開する。当事業の財源は、日本協会、埼玉県、及び(公財)埼玉県体育協会からの補助金、協賛企業からのユニフォーム等の物品提供である。			
<b>【成果】</b>			
各種全国大会出場チームへ奨励金を授与し、全国大会参加の支援を行った。国体は、女子が本大会に出場し4位と貢献した。			
1 国民体育大会	16人	9月～10月	茨城県
2 全国大会参加チーム支援	18チーム	通年	第98回全国高等学校サッカー選手権大会他

項 目	チーム・人数(人)	期間	会場
<b>第四 施設管理事業</b>			
<b>【目的】</b>			
・埼玉県サッカー協会サッカー場を整備・活用して、本県サッカーの発展を目指し、指導者・審判員の養成、選手の強化・育成等をはかるための施設を管理・運営することである。			
<b>【内容】</b>			
・自治体の施設を借り上げて、本法人専用の夜間照明付き人工芝のサッカー場を設置し、維持管理を行い、指導・普及事業におけるトレーニングセンターや指導者・審判員養成事業・または競技会開催等に使用する。			
<b>【成果】</b>			
・2019年度は各種委員会、連盟、市町協会、登録チーム等で延べ977団体の利用があり、埼玉サッカーの普及、発展に貢献している。			
1 SFAフットボールセンターの運営	977団体	通年	SFAフットボールセンター
<b>②【収益事業】</b>			
<b>第一 手数料収入及び物品販売事業</b>			
<b>【目的】</b>			
・各種の手数料収入や、プーマ製品及び代表選手のカレンダー等のサッカー関連物品の販売収益をもって、公益目的事業を推進するための事業である。			
<b>【内容】</b>			
・手数料収入の大半を占めるのが、売店出店手数料である。売店出店を許可する競技会においては、売上金額の一定割合を出店者より受領する。当事業年度の予算は前年度実績により、80万円と見積っている。その他、加盟チームがユニフォームに企業名及び商品名等を掲示する申請手数料収入等で50万円余りを見積っている。 物品販売に関しては、プーマ ジャパン株式会社とサプライヤー契約を締結していることにより、プーマ製品の販売を行っており、当事業年度は30万円の販売額を見込んでいる。販売先は国体選抜チームや連盟等であり、個別チームへの販売は原則として行わない。また、ジェイリーグフォト株式会社が制作している日本代表やなでしこ、個々の選手のカレンダーの販売も行っている。販売の案内及び取りまとめは各連盟に依頼している。当事業の年度予算は従来の実績により、100万円と見積っている。さらに、埼玉県サッカー協会フットボールセンターの収入として、自動販売機収入を月1万円、バナー広告費用として月5万円を見込んでいる。			
<b>【成果】</b>			
・売店出店手数料は80万円の見積もりに対し約120万円、加盟チームの申請料収入等は50万円に対し約70万円、物品販売は30万円の見積もりに対し約20万、カレンダー販売は見積もり100万円に対し約60万円、SFAフットボールセンターの自動販売機収入は見積もり12万円に対し約74万となった。また、バナー広告収入は60万円を見積もったが広告掲出企業は無かった。			
<b>③【その他の事業(相互扶助等事業)】</b>			
<b>第一 チーム及び選手登録事業</b>			
<b>【目的】</b>			
・本法人の行うサッカーの指導・普及、競技会開催、代表関連、施設管理の各事業は、本法人が加盟する日本協会と連動して行われるチーム加盟及び選手登録が基本条件となっている。そして、この登録等の手続きは、誰でもサッカーを楽しむことができるようにと、あらゆる年代と性別をカバーするように制度化されている。チームに登録された選手は、その種別において行われる全ての競技会、研修会、その他のイベントに参加することができる。			
<b>【内容】</b>			
・ チーム加盟及び選手登録の種別は、以下のとおりであり、選手はそのいずれかに登録する必要がある。 ア 第1種 年齢を制限しない選手により構成されるチーム イ 第2種 概ね高校生年代の選手により構成されるチーム ウ 第3種 概ね中学生年代の選手により構成されるチーム エ 第4種 概ね小学生年代の選手により構成されるチーム オ 女子 女子の選手により構成されるチーム カ シニア 40歳以上の選手により構成されるチーム キ フットサル フットサルの選手により構成されるチーム			
<b>【成果】</b>			
・チーム数、選手登録数ともに昨年度よりも減少しているが、東京都に続き全国2位である。シニアとフットサルはチーム数、選手登録数ともに昨年度よりも増加している。その他は1種から女子までチーム数、選手登録数が減少した。各カテゴリーで大会環境の整備やフェスティバル開催等の普及事業を実施しているが、チーム数、選手登録数の減少に歯止めがかからない状況になってきている。	種別	チーム数(1,725)	登録人数(55,714人)
	第1種	338チーム	9,198人
	第2種	182チーム	10,255人
	第3種	476チーム	17,138人
	第4種	537チーム	14,231人
	シニア	43チーム	1,777人
	女子(Lリーグ)	2チーム	50人
	女子(一般)	12チーム	330人
	女子(大学)	6チーム	217人
	女子(高校・クラブ)	46チーム	1,108人
	女子(中学・クラブ)	17チーム	352人
	フットサル	66チーム	1,058人

※ 開催無し:実施しなかった(できなかった)。 中止:新型コロナウイルスの影響で実施できなかった。

(参考)

1 SFA運営会議	1回	通年	SFAフットボールセンター他
2 SFAミッション特別委員会	10回	通年	埼玉県サッカー協会 事務所

事業報告の附属明細書については、該当事項がないため、作成を省略している。